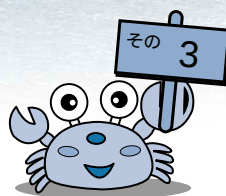
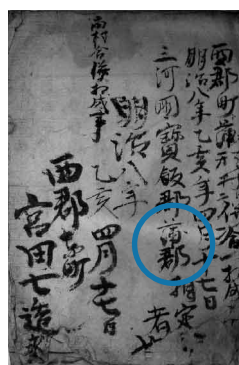


海辺の館のとうておき

「蒲郡」と書いて何と読む？



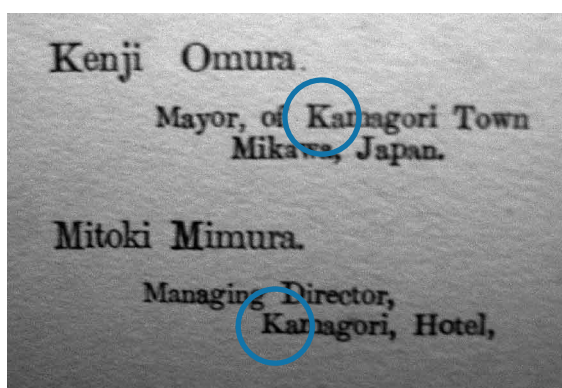
に住んでいた方が、表紙裏に（略）
明治八年乙亥年四月十七日三河
国宝飯郡蒲郡ト相定候者也…（略）
と書きとめた『地獄実有説自叙』
という本が残されています。



『地獄実有説自叙』に
書かれたメモ

が出来たとき、切符をつくるにつ
いて、にこるか、にこらないかの
照会に対し、KとGを誤って答申
したため、その時からにこること
となった」と記されています。蒲
郡駅が誕生したのは明治21年（1
888年）、プラットホームの駅
名表示は「がまごおり」でした。
しかし、この《がまごおり》とい
う読み方は、どうやらすぐには定
着しなかったようです。

蒲郡ホテルの場合



蒲郡ホテル『歓迎の辞』英語版（部分）

《蒲郡》誕生！

今年の夏休みに市内のある学校
では、某テレビ番組を元にした宿
題がでたそうです。何人かの子ど
もが博物館にも蒲郡の「へえ」を
探しに来てくれましたが、その中
で印象に残っているのが《蒲郡》
という名前についてのお尋ねです。

《がまごおり》。

漢字表記の《蒲》《郡》それぞ
れ最初の音が《が》《ご》と、両
方とも濁音から始まっています。
同じような構成の読み方をする市
名は全国的にも大変珍しく、つい
最近合併した郡上市（岐阜県）を

始め、行田市（埼玉県）、五條市
（奈良県）、御坊市（和歌山県）、
備前市（岡山県）、美咲市（北海
道）、豊前市（福岡県）など、わ
ずかしありません。

『蒲郡市誌』によれば、江戸時
代の天保期（1830～44年）
までは《蒲形村》の中に《町》と
呼ばれる地域があり、嘉永期（1
848～54年）ごろに分離して
それぞれ《蒲形村》と《西郡町》
になり、明治2年に《西郡町》は
《西郡村》になったとあります。
この2つの村が明治8年に合併
して《蒲郡村》が誕生したのが、
《蒲郡》の始まりです。西郡村東町

《K》？ 《G》？

いつの時代も合併の際には名前
でもめるようで、当時宝飯郡長を
務めていた竹本氏が、それぞれか
ら一字ずつとって《蒲郡》と名づ
けて丸く収めた、と郷土史研究家、
伊藤天章氏の『蒲郡史談』にあり
ます。

さて、《かまがた》の《かま》
と、《にしのこおり》の《こおり》
をとったのであれば読み方は《か
まこおり》となりそうところだ
ですが、現在の読み方はご存じのと
おり《がまごおり》です。これに
ついては伊藤氏の『かまこおり風
土記』の解説に「国鉄『蒲郡駅』

昭和5年、竹島が国の天然記念
物の指定を受け、地元でもパンフ
レットやポスターなどを作って観